

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

メキシケムジャパン株式会社 三原製造所

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町一丁目1番36号

(3) 業種

1632 脂肪族系中間物製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和7年（2025）度から令和12（2030）年度までの6年間とする。

3 計画の基本的な方向

- 1) 環境の保護及び保全の向上を目指します
汚染を防止し、資源の無駄遣いをなくし、廃棄物の再利用を図ることで、環境への影響を最小限に抑えます。
- 2) ルールを守ります
行政や利害関係者等からの環境関連の規制や規則、協定などを順守します。
- 3) 円滑なPDCAサイクルを維持します
環境目標を設定して、結果を評価し、プロセスの見直しを繰り返し、絶えずEMS活動の有効性を確認し改善をします。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	28,996	18,110

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	77,972	36,063

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
メタン	-	-
一酸化二窒素	-	-
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）	-	-

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	28,996	38.0	11,019	17,977
非エネルギー起源CO ₂	77,972	60.0	46,781	31,191
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	106,968	54.0	57,800	49,168
温室効果ガス みなし排出量	106,968	-		49,168
目標設定の考え方	地球温暖化対策計画（令和7年）の、2013年対比、産業部門エネルギー起源CO2排出量 38%削減、非エネルギー起源CO2排出量：HFCs 60%削減目標より。温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルの係数を使用			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-					
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

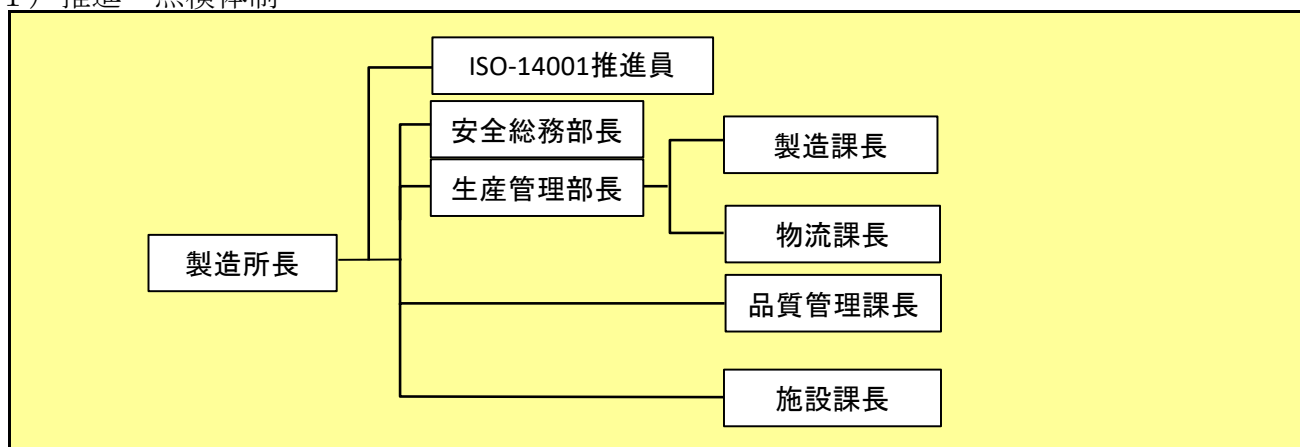
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

ISO-14001推進員を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検および問題点の検討を行う。

この検討内容を、年度の環境目的及び目標の設定に反映させ、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

製造所への備え付けによる閲覧

